

---

# こちら最前線異常なし

Q1923

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

こちら最前線異常なし

### 【Nコード】

N6788Y

### 【作者名】

Q1923

### 【あらすじ】

陸軍に入隊して間もない半人前の、おおたにしげお大谷茂雄は

”ある事件”により何故か最前線に出される。

一体何が起こったのだろうか？

読んでも読んでも謎のストーリー！。

俺の名前は、おおたにしげお大谷茂雄。

陸軍に入隊して間もないまだまだ半人前のこの俺が最前線に立ったのは”ある事件”のせいだった・・・  
今からちようど3週間前、俺は山奥の鎌野町第7陸軍基地かまのまちに配属になった。

「おい、お前聞いたか？あの話」

「ん？何？あの話って」

入隊した時からずっと一緒だった加藤かとうが聞いてきた。

「お前、マジで知らないのかよ」

「最前線に行つた3万人の兵が消えた話だよ」

「ああ、知ってるよその話、でもなんかの間違えだろ」

「間違えでもあるかよ、リーダー上から消えたんだぜ、おまけに無線にも応答なしって怖え〜だろうが」

「おい、お前から私語は慎め」

「すみませんでした、軍曹！」

このいかにも怖そうな顔。

出た、小森こもり軍曹のお出ました。

「まじ怖え〜よ、あのだるま」

「オイオイ、聞こえるぞ」

その時だった。

基地中に響く警告音。

「こちら本部、緊急出動命令発令、総員出動準備。」

「うあ〜最悪、一体何だよ今度は。」

顔色を悪くした加藤が慌てて準備する。

「もしかして最前線に行くんだつたりして」

俺は、加藤をおちよくるつもりで言ってみた。

「おい、ホントにマジそうゆづのやめてくれよ〜」

「ウソウソ冗談だつて」

そうして基地の中央ホールに集められた俺たち。

「諸君、よく聞け、我々は最悪の事態に直面した。」

待てよ、まさかもしかして・・・と思っていた矢先に。

「最前線に出撃する。」

うっわ、マジだまさか本当になるとは。

「おい、おつ大谷マジでお前の行ったこと本当になりやがったぞ」  
加藤は完全に血の気が引いてしまっていた。

「諸君、先日の兵隊消失事件の際多くの人材を失った。それにともなつて今回は別ルート並びに調査班との連携での出勤となる。更に最前線基地との通信もできない状態に陥っているとのことだが我々の任務遂行に問題はない、以上、諸君の健闘を祈る。」  
「いよいよ出撃だ、正直、俺もかなり不安だった、でも加藤ほどでもない。」

「ああああ、どうしようおいおい、マジかよ、まだ親孝行してね」  
「のによ、畜生。」

「ただただよお前、別にそんなに心配するもんか？大丈夫だつて。」

「そつそつだよな、何俺こんなに焦つてんだよ、落ち着けっつーの」  
そう話しているのに俺達は何故か輸送車両に足が進む。

「いいかお前からここからは生きるか死ぬか、心せよ」

軍曹はいつもと変わらぬ態度で俺達に言っていた。

「サーイエッサー」

そして輸送車両に揺られかれこれ3時間。

ついた、最前線に・・・な、何もなかった、何もなかったんだ。  
本当に。

「コレが最前線なのか、そしてあの事件の原因・・・」

一面、見渡す限りの崖。

一体内があつたのだろうか？

今になつても謎のままである。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6788y/>

---

こちら最前線異常なし

2011年11月20日18時27分発行